

# プリオ及びプリオⅡ

## 大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

### 届出概要

閉店時刻を午後8時から午後9時に繰り下げ、駐車場利用時間帯を「午前9時から午後10時まで」に変更する。(法第6条第2項)

### 届出事項

1	届出年月日	平成16年6月18日		
2	店舗名称	プリオ及びプリオ		
	店舗所在地	豊川市諏訪三丁目133番地		
3	変更をする日	平成16年7月1日		
4	届出事項	変更前	変更後	
(1)	設置者	名称	豊川市開発ビル株式会社	
		代表者	代表取締役 加藤 雅之	
		住所	豊川市諏訪三丁目133番地	
		備考	なし	
	小売業者	名称	ユニー株式会社	変更前に同じ
		代表者	代表取締役 佐々木 孝治	同
住所		稲沢市天地五反田町1番地	同	
(2)	店舗面積	18,789 m <sup>2</sup>	同	
		備考	他29名	
(3)	駐車	位置	別紙図面のとおりに	
		台数	969 台	
	駐輪	位置	別紙図面のとおりに	
		台数	535 台	
	荷捌	位置	別紙図面のとおりに	
		面積	875m <sup>2</sup>	
廃棄	位置	別紙図面のとおりに		
	容量	488 m <sup>3</sup>		
(4)	営業	開店時間	午前10時	
		閉店時間	午後8時	
	駐車場利用時間帯	午前9時から午後9時まで	午前9時から午後10時まで	
	駐車場	出入口数	7箇所	変更前に同じ
		出入口位置	別紙図面のとおりに	同
荷捌時間帯	午前6時から午後9時まで	同		
業態	総合店			
用途地域	商業地域			
参考	平成12年12月附則第5条第1項届出(増床)			

# プリオ及びプリオII

## I 施設の配置及び運営方法関連事項

### 1 駐車需用の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

#### (1) 交通に係る事項

##### ① 荷捌施設の整備等

###### ア 荷捌施設の整備

停車位置	専用出入口・通路	面積	時間外搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	隔離	875m <sup>2</sup>	有り	30分	7台	9台	

#### イ 計画的な搬入

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷捌待スペース	評価
8:00~10:00	17台	17:00~18:00	12:00~13:00	無し	無し	

#### ② 経路の設定等

##### (1) 車両関係

###### ア 来客車関係

案内表示	案内員の配置	生活道路の回避	通学路の回避	右折経路	右折用車線	右折入庫
有	配置	非回避	非回避	有り	無し	有り

#### イ 搬出入車両関係

通学路の有無	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
有り	有り	非配備

### 2 生活環境悪化防止関係

#### (1) 騒音発生に係る事項

##### ① 騒音問題対応策

###### ア 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	8 m	無	出口ブザー音等	無	無	-
西方向	-	-	-	-	-	-
南方向	25 m	無	自動車走行音等	無	無	-
北方向	-	-	-	-	-	-

遮音壁の悪影響	評価
-	

#### イ 荷捌・営業活動の騒音対策

荷捌施設建築計画面での配慮	屋内で荷捌ができるよう設計
荷捌施設運営面での配慮	早朝、夜間の荷捌作業を避ける
荷捌施設機器選択面での配慮	特になし
放送設備使用面での配慮	屋外BGMなし

#### ウ 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機からの騒音	低騒音タイプの機器を選定し、防音目隠壁の設置
給排気口からの騒音配慮	なし
駐車場からの騒音配慮	段差の解消、場内スピード制限
廃棄物収集作業に伴う騒音配慮	四方を壁で囲う、深夜・早朝の回収を避ける

#### ② 騒音の予測評価

予測対象騒音	定常騒音	冷却塔	5	空調室外機	80	換気口	4	発電機	10	浄化槽		ポンプ		エンジン等	
			冷凍室外機		冷凍機械室		排風機	19	送風機	1					
変動騒音	ゴミ収集作業	○	BGM		アナウンス										
	自動車走行	○	荷捌アイトリング	○	後進警報ブザー	○									
衝撃騒音	荷降し音	○	台車走行	○											

## プリオ及びプリオⅡ

### ア 等価騒音レベル予測

		A	B	C	D
用途地域		商業地域	商業地域	商業地域	第2種住居地域
昼間基準値		60 dB	60 dB	60 dB	55 dB
夜間基準値		50 dB	50 dB	50 dB	45 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	47.0 dB	46.0 dB	51.0 dB	52.0 dB
	評価	○	○	○	○
県	夜間等価騒音レベル	41.0 dB	37.0 dB	41.0 dB	19.0 dB
	評価	○	○	○	○
昼間等価騒音レベル検証		妥当	妥当	妥当	妥当
夜間等価騒音レベル検証		妥当	妥当	妥当	妥当

夜間における騒音ごとの予測値は、夜間等価騒音レベル予測値と同じである。

### (2) 廃棄物関係

悪臭問題関係配慮	生ごみ保管庫は冷却装置設置
衛生問題関係配慮	保管施設は密閉機能付帯

	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	指針容量	見かけ比重の変更	判定
紙廃棄物用	270.00 m <sup>3</sup>	1日	1.80 t	0.10 t/m <sup>3</sup>	18.00 m <sup>3</sup>	変更なし	
空缶・空き瓶	48.00 m <sup>3</sup>	7日	0.32 t	0.10 t/m <sup>3</sup>	22.40 m <sup>3</sup>	変更なし	
厨芥・その他	170.00 m <sup>3</sup>	1日	2.44 t	0.15 t/m <sup>3</sup>	16.27 m <sup>3</sup>	変更なし	
合計	488m <sup>3</sup>	-	-	-	56.67 m <sup>3</sup>	-	
保管日数の設定根拠		既存店のため、実績による					
見かけ比重変更の理由		変更なし					
指針と異なる算定式の使用		変更なし					

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
ダンボール不使用納品の実施	無	空缶・空き瓶の回収箱設置	無
生ゴミ堆肥化施設の使用	無	食品トレー・ペットボトルの回収箱設置	有
廃棄物等圧縮機の使用	無	食品加工場の設置	有
脱水装置の使用	無	物販店以外の施設との保管施設の共有	有

位置・構造	適正な分別の実施		6種類の分別を実施	
	搬出作業の利便性の確保		無	
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保		換気設備有	
	生ゴミ保管施設の温度管理等の実施		無	
	生ゴミ保管施設の気密性の確保		無	

十分な搬送頻度の確保	生ごみ・ダンボールは毎日、空缶・空瓶は週1回
繁忙期の特別な措置	特になし
運搬(予定)業者(免許番号)	株式会社トヨジン等
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	無
食品加工場併設の場合の運営上の配慮	排水トラップ設置

評価

市町村の意見概要	対応
意見なし	-
住民等の意見概要	対応
意見なし	-

県の意見案	
意見なし	